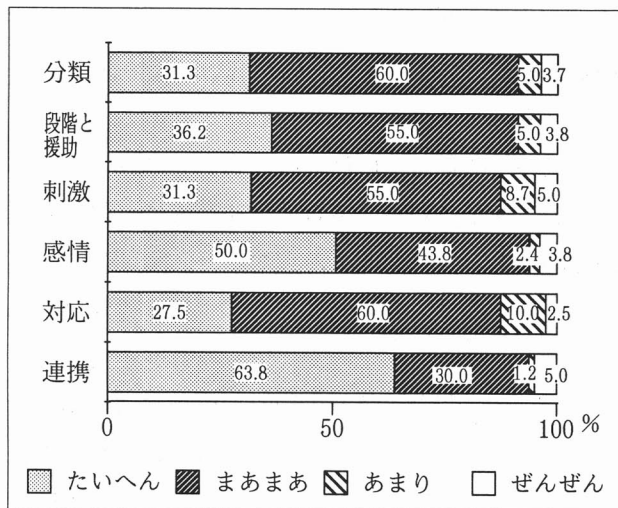


年4回（5月〈初回・前掲〉，7・10・12月）の計画で，時間は，各回90分程度を目安とした。テーマ・方法等は，各回の反省を踏まえ，その都度，事前に検討することにした。



【図10】 校内研修会の評価

《第2回》

(1) 研修テーマの選定と研修方法の検討

初回研修会終了後，必要度の高いテーマ・方法等について，次の2点を参考に，教頭，研修係（教務主任），筆者で，事前打ち合わせを行った。

- 協力校におけるテーマ・方法等の事前アンケート，及び研修係による聞き取り調査結果
 - 初回研修会を実施しての感想・反省等
- その結果，第2回研修会を以下の内容で実施することにした。

- ① 方法 事例研究会形式で実施する。
- ② 事例 欠席の多い3名の事例とする。
- ③ 進め方 進行は教頭，指導助言を筆者とし，時間配分は1事例30分とする。
- ④ 資料等 各事例について，発表者が負担にならないような【図11】の様式（A4判1枚）の資料を作成し，³⁾ 事前に配布する。また，協力校における事例研究会は，初めての試みなので，筆者が事例研究会の目的，意義，留意点，当日の進め方等について活用しやすい資料を工夫し，配布する（次ページ【図12】）。

(2) 研修会の実施

- ① 実施期日 平成8年7月10日

1. 主題
2. 問題の概要
3. 家庭・生育歴等
4. 指導経過
5. その他参考事項

- ② 対象事例 3事例
- ③ 反省

ア 3事例は多すぎた。各事例とも時間が不足して，もう一歩深められなかった。

【図11】 事例資料の様式

イ 事例研究会の進行（教頭）は，初めての経験で難しかった。

ウ 全職員の共通理解を図り，研修を深める良い機会となった。

《第3回》

(1) 研修テーマの選定と研修方法の検討

第2回の反省を踏まえ，次の3点を改善・工夫し，同じく事例研究会形式で実施することにした。

- 対象事例を1事例とする。
- 進行は筆者，指導助言を教頭とする。
- 事例資料は，より簡単なものにする。

(2) 研修会の実施

- ① 実施期日 平成8年10月29日
- ② 対象事例 摂食障害の生徒をめぐる友人関係の事例
- ③ 反省
 - ア 対象を1事例としたので，前回よりも研究を深めることが出来た。
 - イ どうにもならないことは，指導の前提として，今できる具体的な対応策の手がかりをつかむことが出来た。

《第4回》

(1) 研修テーマの選定と研修方法の検討

第3回の反省と，本研究最後の研修会となることを踏まえ，検討を行った。

その結果，前回の事例はその後，友人関係に改善がみられ，研究で得られた具体的な対応策が効果的だったことから，他の研修内容とするより，事例研究会形式で，具体的な対応策の研究を一層深めていくことにした。

(2) 研修会の実施

- ① 実施期日 平成8年12月5日